

# 再構成サイズが脳動脈瘤の描出に与える影響

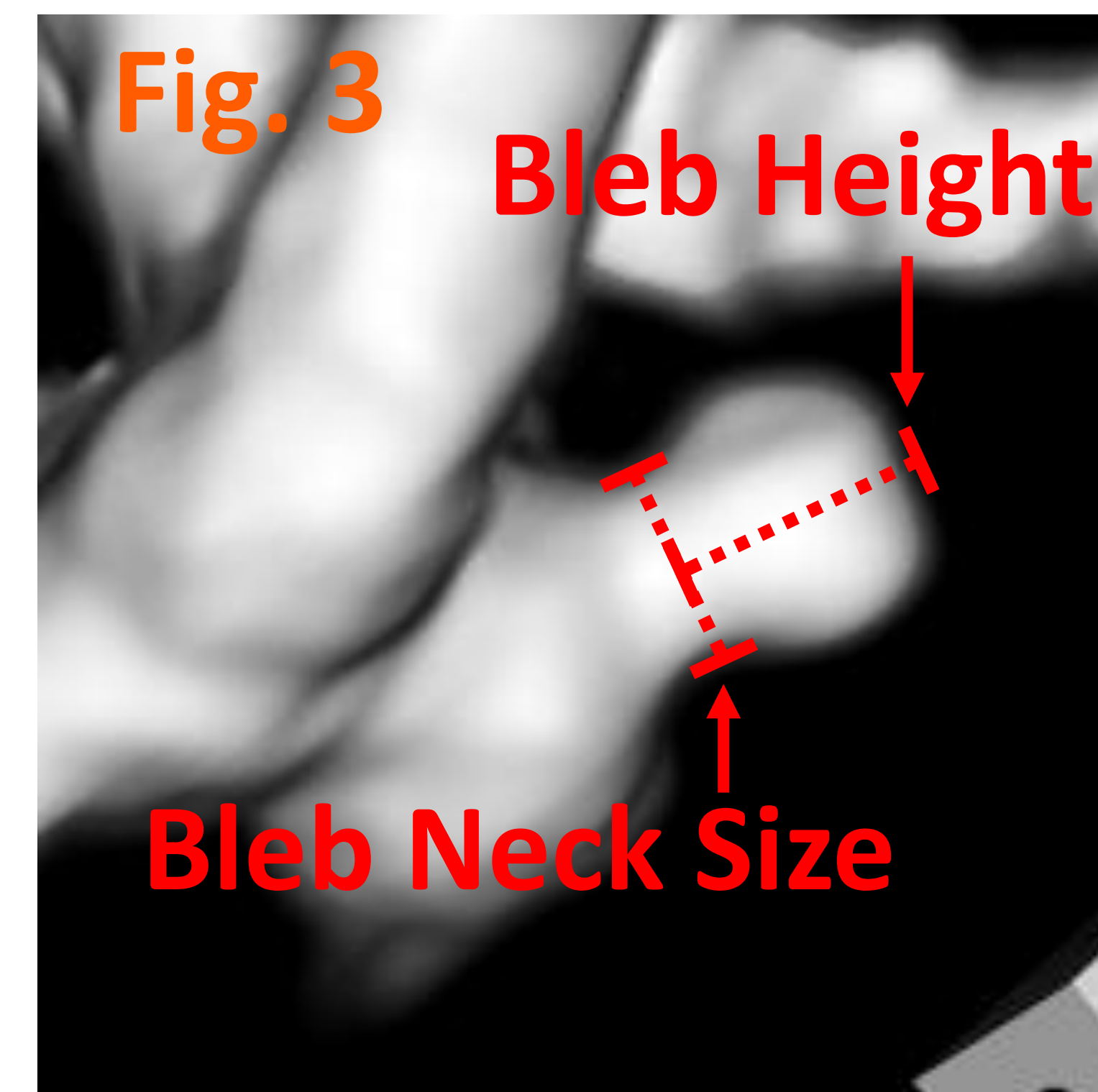
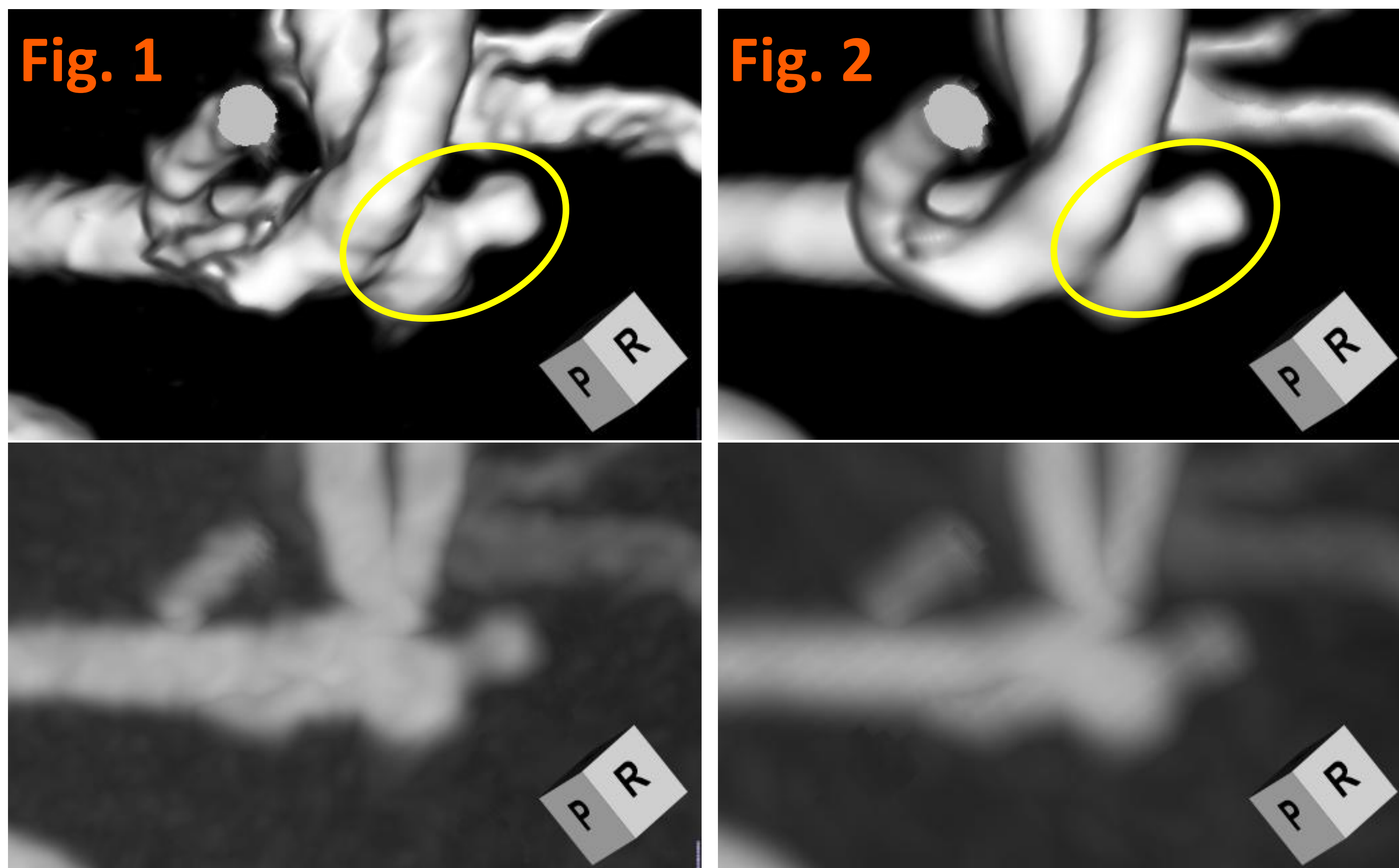


Fig.1 :FOV 80 mmデータによるVR・MIP画像  
 Fig.2 :FOV 190mmデータによるVR・MIP画像  
 Fig.3 :Bleb Neck SizeおよびBleb Heightの測定位置

- 前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血 術前CT Angiography
- 同一の撮影データから再構成サイズを変えて再構成し、表示条件を統一して3D表示した

	再構成範囲	FOV	Thickness	Bleb Neck Size	Bleb Height
Fig.1	動脈瘤周囲	80 mm	0.6 mm	1.4 mm	2.1 mm
Fig.2	全脳	190 mm	0.75 mm	1.8 mm	1.9 mm

Bleb部分のくびれの描出が両画像間で異なる(○)

FOV 80 mm (Fig. 1)では、ピクセルサイズが小さくなることによって、動脈瘤のサイズ計測の精度が向上する  
 そのため、コイルサイズを選択などの治療計画の立案において、強いアドバンテージを持つ